

第54回購買ネットワーク会 ハードスキル講座

# サプライヤー信用 リスクを評価する

2016/04/16 (Sat)

{ 1 }

# 「取引先の信用リスク」って何？

- 「取引先の信用リスク」「信用リスク管理」をGoogleで検索してみた。

→ 267,000件がヒット。しかし...

- 解説の多くは、**債権（売掛金）回収**の視点で書かれている。

信用リスクは、倒産や債務不履行等により、元本の返済や金利の支払いが滞ったり、停止されることをいいます。... 企業の与信管理では、取引開始時に取引先を選別すること、各取引先に与信限度枠や与信期間の制限を設け、その制限内で取引を行うこと、...

- 少々乱暴に言えば、営業部署にとって取引先の倒産・破綻は「想定範囲内」である。

→ 「**貸倒引当金**」

# バイヤーにとっての「信用リスク」

- バイヤーに「貸倒引当金」はない。
- 倒産や経営破たんによって、サプライヤーからの供給が途絶えた場合（特に専用品、特注品）、事業継続の危機へとつながっていく怖れがある。

自社製品の生産停止→納期遅延→受注キャンセル  
→自社の損失+顧客企業の事業停止  
→信用失墜、事業継続の危機



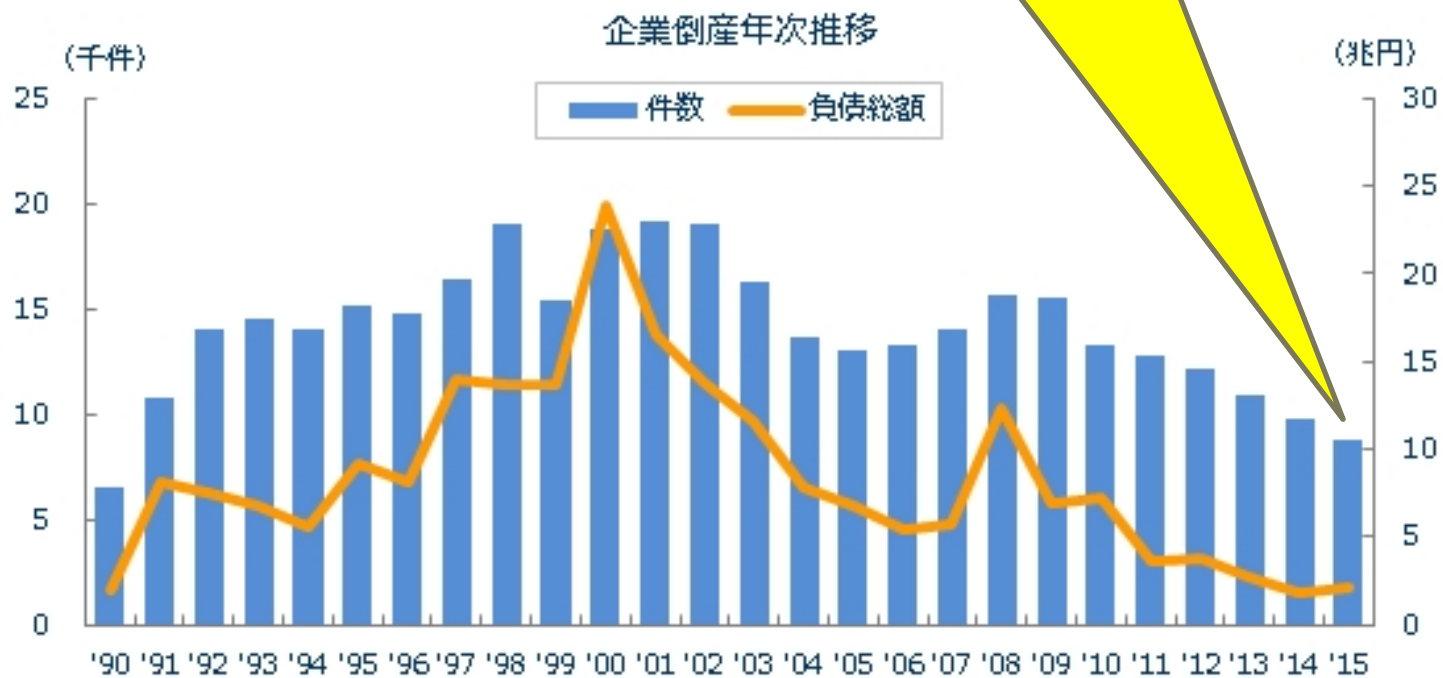
- バイヤーは安定供給の確保の観点から、サプライヤーの倒産可能性を事前に察知し、対策しなければならない。

# 国内外企業倒産の動向

# どのくらいの企業が倒産しているか

日本国内

倒産件数は8,812件  
25年ぶり9,000件割れの低水準



東京商工リサーチ、負債1000万円以上

# 2016年 国内企業倒産の見通し

現在の状況は、リスケジュール（返済繰延）による“倒産抑制”

→いずれ政策転換の可能性

\*中小企業庁は2015年11月に中小企業政策審議会に金融ワーキンググループを立ち上げ、信用保証制度の見直しに着手。

## ● 再建見込みが立たない企業は淘汰へ

2015/10/05（月） 第一中央汽船株式会社など2社 民事再生手続き開始決定	市況の悪化により4期連続の最終赤字となるなか、 運航隻数は172隻に増加するなど、過年度の設備投資負担が経営を圧迫、 負債額：2社合計で約1764億6700万円
--	--

経営改善が遅れた企業の息切れ倒産は、今後も一定水準で発生する。  
規模、地区、業種間、各階層での二極化が拡大。企業倒産は穏やかな増加が想定される。

TSR「局面変化をみせる倒産動向

# 2016年 国内企業倒産の見通し

“チャイルショック”、通貨暴落  
→BRICsをはじめとするLCCの景気低迷  
→大型倒産発生の兆し

チャイナリスク関連倒産月次推移 (TSR調べ)



# 2016年 海外企業倒産の見通し

- 欧州委、ロシア・中国製の冷延鋼板に反ダンピング調査開始 (2015.5)



早くも犠牲者が...

- **Caparo goes into administration in further blow to British steel industry**

PwC appointed as joint administrator to most of the companies within Labor peer Lord Paul's business empire, which employs more than 1,700 people

Cheap imports of Chinese products and the strong pound are taking their toll on UK manufacturers in the sector:

- **タタ製鉄、英国事業売却を検討 鋼材市況低迷で (2016.3)**



# サプライヤー財務指標評価の 実務

## サプライヤー財務指標評価～3つの方法

- ここでは、サプライヤーの財務指標評価（決算書診断、信用状況査定）の3つの方法をご紹介します。



## サプライヤーの財務指標評価(1)

# 調査会社から信用格付け、調査レポートを購入

内外区分	方策	メリット	デメリット
外製 (他人の力を借りる)	調査会社から信用格付け、調査レポートを購入	専門家の評価がわかる 手間がかからない	出費が発生する

- 一般的な料金の目安は以下の通り。
  - 概要データ：1,500円程度/社
  - 信用調書：30,000円程度/社

- 主な信用調査会社

株式会社 帝国データバンク [TDB] | TEIKOKU DATABANK, LTD.

株式会社東京商工リサーチ [TSR] | 世界最大の企業情報データベースを提供中！

## サプライヤーの財務指標評価(2)

# サプライヤーから財務諸表を回収し自社で分析

内外区分	方策	メリット	デメリット
内製 (自社で)	サプライヤーから財務諸表を回収し自社で分析	出費がない (専任をおかない場合)	決算書を手に入れない、 工数がかかる、専門知識が要る

- 決算書から財務比率分析を行う「これっきり」安全性指標

**流動比率 (%) : 流動負債 / 流動資産**

目安 : 100%超あれば安全圏

**総借入月商比 (カ月) : 総借入 / 月平均売上高**

目安 : 月商の5カ月分以下なら安全

**自己資本比率 (%) : 自己資本 / 総資本**

目安 : (業種によるが) 30%超、マイナスの場合(債務超過)は、警戒が必要

「調達・購買の教科書」4-D. サプライヤー倒産対応 (2) 決算書類のチェック方法

①流動比率、②負債比率、③真性利益(経常利益+役員報酬)

## サブライターの財務指標評価(2)

日本の中小企業の不思議：

財務指標が悪くても、なかなか倒産しない

- 経常利益は、業績が良くても悪くても**100万円前後**
  - **役員報酬で調整して赤字回避／節税対策**
- 借入金依存度が高く、自己資本比率は低い
  - 借入金月商比率は5～7か月
  - 自己資本比率は平均で20%以下、**1／5は債務超過**
- 金融機関が運転資金融資を行うかどうかが生命線



## サプライヤーの財務指標評価(2)

安全性評価指標（おまけ）：  
「借り入れ余力があるのか」

**債務償還年数** = 要償還債務 ÷ 営業キャッシュフロー

※要償還債務 = 借入金・社債・割賦の未払金 - 経常運転資金

※営業キャッシュフロー = 経常利益 + 減価償却費 - 法人税等

簡便計算式：（短期借入金 + 長期借入金） ÷ （営業利益 + 減価償却実施額）

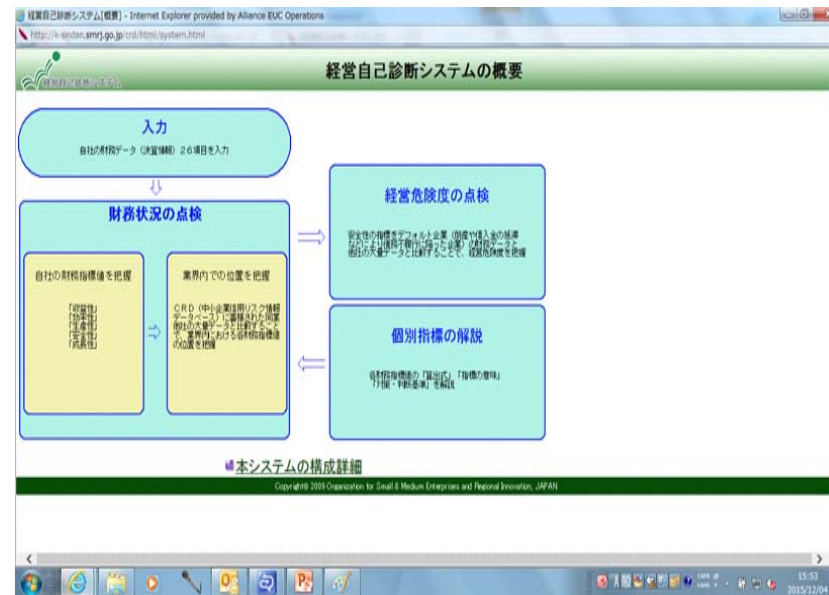
一般的には、債務償還年数が10年以内であれば、良好な財務状況と判断。  
営業キャッシュフローがマイナスの場合は危険水域。

# サプライヤーの財務指標評価(3)

## サプライヤーから自己分析結果をもらう

内外区分	方策	メリット	デメリット
外製 (他人の力を借りる)	サプライヤーから分析結果をもらう	出費がない、 <b>サプライヤーに経営意識を持たせられる</b>	サプライヤーを説得しなければならない

- 独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営する「**経営自己診断システム**」を活用する。
- サプライヤーに自社財務データをインプットしてもらい、診断結果画面のコピーを提出してもらう。
- **診断結果を基に経営計画、改善計画を話し合う。**



[http://k-sindan.smrj.go.jp/crd/servlet/diagnosis.CRD\\_0100](http://k-sindan.smrj.go.jp/crd/servlet/diagnosis.CRD_0100)

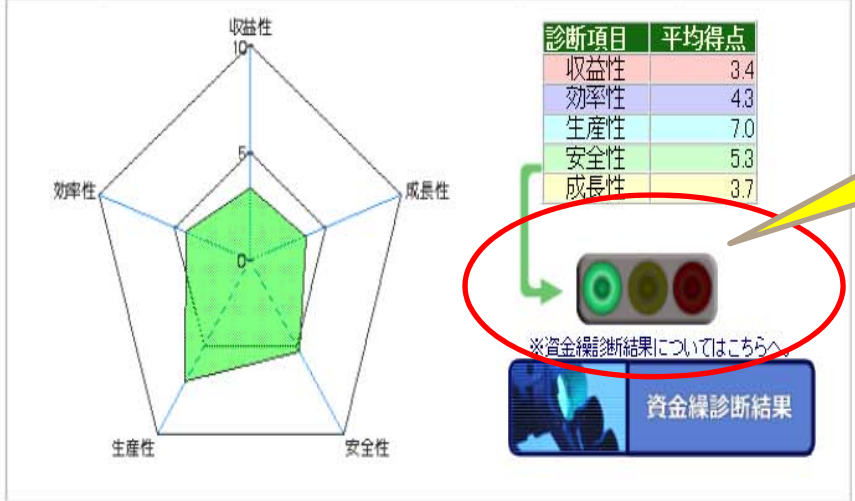
# 総合診断結果

経営自己診断システム

～ 貴社の総合診断結果と、貴社の個別指標のワースト3を表示します。～

TOP 戻る 印刷 PDF ヘルプ

業種名 輸送用機械器具製造業 サンプル数 15,103社



評価結果がわかりやすく表示される

※資金繰診断結果についてはこちらへ。 [資金繰診断結果](#)

※個別指標の診断結果についてはこちらへ。 [個別指標診断結果](#)

※ワースト3は個別指標の得点が低い順から3つまでが表示されます。なお、同得点の指標が複数ある場合は、3つ以上の指標が表示されることがあります。

ワースト	診断項目	指標名	得点	指標値	中央値	解説
1	収益性	債務償還年数	0	183.68年	6.75年	<p>【債務償還年数】</p> <p>◆算出式  <math>(\text{短期借入金} + \text{長期借入金}) \div (\text{営業利益} + \text{減価償却実施額})</math></p> <p>◆指標の意味                      本業からのキャッシュフロー(営業利益+減価償却費)を全て借入金の返済に回すと仮定して、何年間で借入金を全額返済できるかを示す。数値は小さいほど安全性が高い。</p>

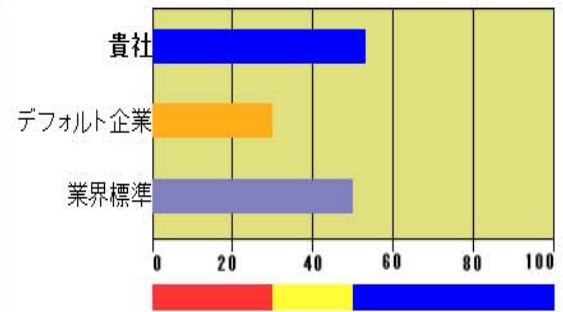


# 資金繰診断結果

経営自己診断システム

総合診断結果からさらに安全性項目のみを表示し、デフォルト企業群と比較しています。～

財務指標名	貴社		デフォルト企業		業界標準
	得点	指標値	得点	中央値	中央値
自己資本比率	6	2087 %	3	-13.25 %	1063 %
流動比率	3	109.49 %	4	113.82 %	154.91 %
当座比率	4	79.37 %	3	61.93 %	112.33 %
固定長期適合率	2	92.69 %	4	73.50 %	65.60 %
減価償却率	1	1.42 %	3	11.99 %	15.97 %
手元現金預金比率	6	12.35 %	3	4.70 %	9.98 %
借入金月商倍率	7	2.85 ヶ月	3	9.83 ヶ月	5.34 ヶ月
借入金依存度	8	30.22 %	3	90.18 %	64.85 %
預借率	7	51.93 %	2	5.51 %	20.78 %
売上高支払利息割引料率	9	0.00 %	2	2.04 %	0.68 %



※ 判定結果の内訳  
 安全ゾーン(■): 業界標準以上  
 警戒ゾーン(■): デフォルト企業以上、業界標準未満  
 危険ゾーン(■): デフォルト企業未満

貴社の合計点	53
デフォルト企業の合計点	30
業界標準の合計点	50

**判定結果** **安全ゾーン**

本診断結果は、貴社の財務指標値を業界水準と対比した場合の目安として表示しているものであり、貴社の信用度を断定するものではありませんのでご留意願います。

ご相談窓口

レーダーチャートを見ながら改善点を話し合う



企業も人も同じ。  
定期的に健康診断  
（＝財務状況診断）  
を受けることによって、  
病気の前兆を把握し、  
早めの手当てを施すことが  
重要です。

